

関西学院

2024年12月11日（水） （集合）10時～班ごとに見学後解散

急に冷えこんだ秋の1日を、紅葉を愛でながら散策しました。

3班は関学探訪、ランチの後 ヴォーリス設計の雲雀丘花屋敷にある高碕記念館を訪ねました。



時計台（大学博物館）

竣工：1929年（S4）

設計：W.M.ヴォーリス

登録有形文化財

中央広場に面し、甲山を背景にした 赤瓦とクリーム色のスタッコ塗壁のスパニッシュミッション・スタイルで有名。

スタッコ塗：凹凸を深く付ける罫による塗り方で全関学（幼・小・中・高・大・院）独特のスタイルを確立している。これは 1977年（S52）から関学と日本設計が「ヴォーリス空間との連続性とデザイン秩序を保つ」ように協働している。



時計台1階エントランス
床の小さなタイルが美しい



時計台近影



ランバス記念礼拝堂
竣工：1959年（S34）
設計：日建設計



礼拝堂内部はパイプオルガンが据えられ、150席
収容される



ハミル館への紅葉の道



ハミル館
竣工：1918年（T7）に原田の森で建設後
1929年（S4）上ヶ原に移設
設計：W.M.ヴォーリス
木造2階建てモルタル外壁 赤面スレート葺

関学に現存する最古の建築物
十文字平面の四方の隅部に八角形の塔状部を伏した
ヴォーリス独特のデザイン



大学院1号館前の門柱
 設計：W.M.ヴォーリス
 1929年（S5）原田の森から
 上ヶ原に移設



ランチは学生会館新館の三田屋
 熱々のステーキ定食（美味しかったです）



ひばりが丘の庄司邸
 竣工：1919年（T8） 登録有形文化財
 設計：古塚正治（旧宝塚ホテルの設計者）
 200本以上のバラ園（5月に一般公開）



高碕記念館（玄関の西面）
 竣工：1923年（T12） 登録有形文化財
 設計：W.M.ヴォーリス
 木造2階建 腰折れ屋根のコロニアルスタイル



南面

実用性に重きをおき、簡潔ではあるが豊かなデザインと、温かみのある住み心地を重視している。
 外壁はドイツ壁（ドイツ壁とは：モルタル壁下地に コテ板にモルタルをのせ ササラ（長さ20cm
 ぐらいの竹の掃除道具）でモルタルを掃きつけ凹凸のある味わい深い壁）



北面